



政友会 今井俊郎 議員

1 市政運営の方針より

質問1 市民活動団体の拠点づくりの支援は。

答弁1 NPOやボランティア団体等には、ますます重要な役割をはたしてもらえると期待しているが、施設整備には、更なる調査研究と条件整備が必要であり、当面はジェブリーすずかを活用してもらいたい。

質問2 元気で魅力あふれるまちの実現への施策は。

答弁2 「第3期行財政経営計画」を今年1年間かけて作成しその中に元気で魅力あふれるまちの実現への施策を盛り込みたい。来年は市制70周年を迎えることから元気を発信する契機にしていきたい。

質問3 文化活動への支援強化を必要と考えるが。

答弁3 2カ年をかけて、鈴鹿市文化振興ビジョンを改訂予定である。アンケート等で広く市民の意見聴取し、審議会のメンバーにも市民に参加して頂き、市民目線による市民のためのビジョンを策定したい。

質問4 財政的に厳しい中、企業誘致や産業政策並びに都市計画における市街地形成の考え方は。

答弁4 新たな需要開拓等へ支援を行い、幅広い産業分野の高度な技術の集積を図り、農商工等連携した6次産業化等による新たな市場の創出等も検討したい。市街地形成は、現在の土地利用状況を基本としたコンパクトシティの構築を目指したい。工業系市街地については一定規模以上の工業系用途に限っては開発を許容し、計画的な新たな市街地を図りたい。



緑風会 藪田啓介 議員

- 1 第5次総合計画と第2期行財政経営計画について
- 2 防災計画について
- 3 福祉施策について

質問1 第5次総合計画に対する評価と行財政経営計画の計画手法はどうか。また、戦略的事業の見直しと新たな展開及び東日本大震災の影響に対する対応はどうか。

答弁1 リーマンショックにより事業の先送りがあったが方向性は概ね良かったと思う。行財政経営計画は議会や市民の意見を聞きながら策定してゆく。戦略的事業はシティーセールスを含め財政面をふまえて選択してゆく。震災の雇用・産業への影響は注視してゆくが、

輸送機器関連企業の税収見込みは歳出予算の執行に大きく影響を受けないと考える。

質問2 防災計画の評価と見直し及び津波対策と地盤液状化対策はどうか。

答弁2 三重県の防災計画と整合性を図り見直しが行われている事は評価をする。地盤液状化については市独自の液状化マップなどを使い啓発に努める。

質問3 鈴鹿型コミュニティ・スクールと特別支援教育の充実及び救急医療体制における小児救急の課題はどうか。

答弁3 学校運営において地域と一体となった学校づくりを目指し、鈴鹿市教育振興基本計画の「鈴鹿五策」において途切れのない総合的な支援を進める。小児救急については亀山市との協働をはかる。



リベラル鈴鹿 水谷進 議員

- 1 施政方針について
 - (1) 総合計画について
 - (2) 中期的な財政運営について
 - (3) 議会との対話について

質問1(1) 本年度で第2期の行財政経営計画の計画期間が満了するが、今後の総合計画の策定方針は。

答弁1(1) 4月の地方自治法の改正により、これまで以上に戦略性の高い総合計画を策定しなければならないと考える。総合計画における基本構想の部分については、ただちに策定しなおす必要はないと感じているが、いくつかの政策間での比重の違いについて、もう少し時間をかけて検討し、最終的な結論を出したいと考えている。

質問1(2) 市の財政状況は厳しさを増しているが在任期間である今後4年間という中期的期間について財政健全化の視点から市長の財政運営方針は。

答弁1(2) より一層の「選択」と「集中」によるメリハリの利いた行政運営が必要であり、行財政改革を更に進め、総合計画、財政計画及び行財政改革との密接な連携を図りながらの事業の見直しを行いたい。また、行政評価システム改善等のため、有識者や市民の意見を求めていきたいと考えている。

質問1(3) 議会とのコミュニケーションが大切であるが県議経験も踏まえた議会との関係や対話について。

答弁1(3) 市長と議会とがコミュニケーション不足に陥ることがないような仕組み作りと、お互いに協力し合い、円滑な市政運営に努めていきたい。